特　集

令和５年３月17日
長　崎　税　関

長崎税関における
「とうもろこし（飼料用）」の輸入について

・2022 年は　長崎税関管内の全国シェア 第１位（数量・金額）
・2022 年は　過去最高額（全国・長崎税関管内）
・鹿児島県は　14 年連続、全国シェア 第１位（数量・金額）

１．　はじめに

2022 年は記録的な値上げの年となりましたが、今年もしばらくは値上げの動きが続くとみられています。世界的需要の高まりによる資源価格の上昇に加え、ウクライナ情勢に伴う穀物などの高騰、更には円安による輸入コストの増加の影響もあると言われています。原油相場などはひと頃よりも下がっていますが、まだまだ先が見通せない状況にあります。

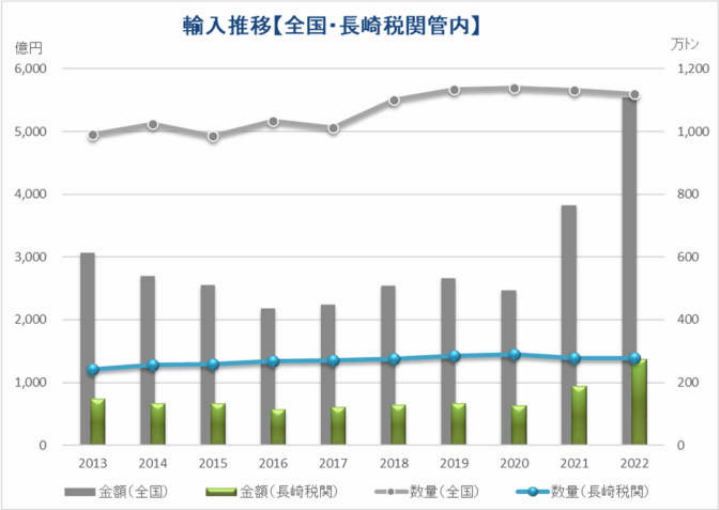
このような中、当関の主要輸入品である「とうもろこし（飼料用）」は、家畜のエサとなる配合飼料の主原料となりますが、その殆どを海外からの輸入に依存しており、価格高騰の影響も考えられることから、今回取り上げてみました。

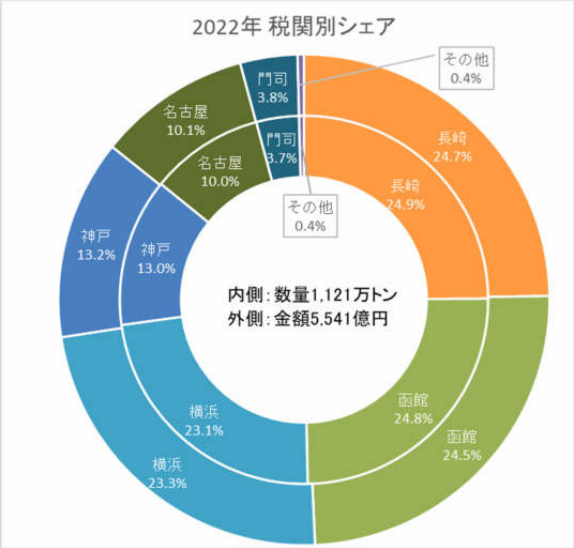
２．　輸入動向

2022年の全国における「とうもろこし（飼料用）」の輸入実績は、数量1,121 万トン（対前年比1.0%減）、金額は5,540億98 百万円（同44.7%増）で、輸入額は過去最高でした。

一方、長崎税関管内は、数量279万トン（同0.5%増、全国シェア24.9%）、金額1,371億36 百万円（同45.7%増、全国シェア24.7%）で、数量・金額とも全国シェア第１位、輸入額は過去最高でした。

因みに、過去10年における長崎税関のシェアは、1位が６回、２位が4回でした。

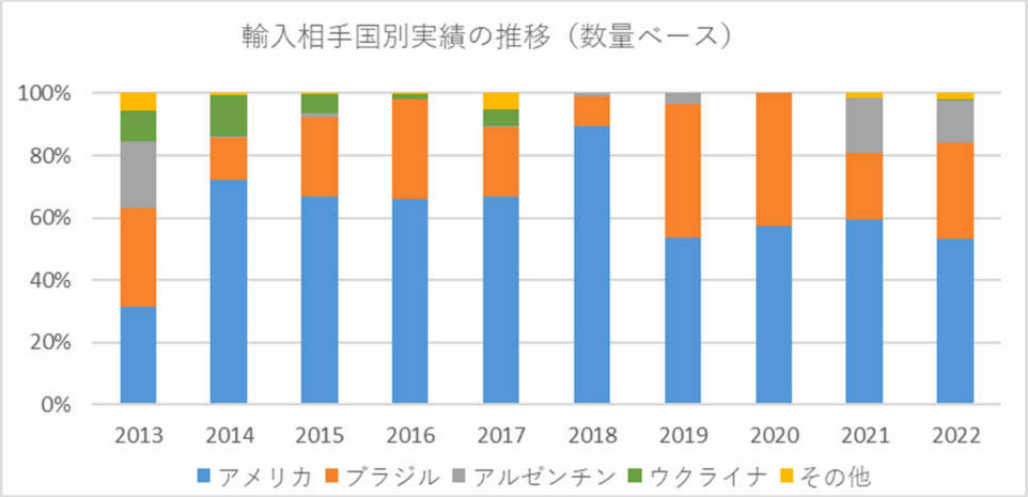


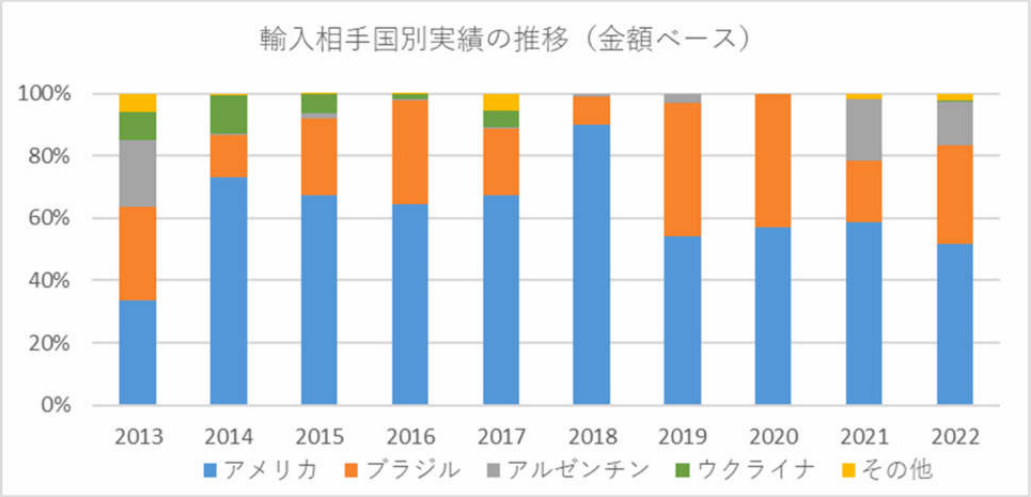


・本特集における「とうもろこし（飼料用）」とは、統計品目番号 1005.90-010〔播種用以外のその他のもの-飼料用のもの（税関の監督の下で飼料の原料として使用するものに限る。）〕を集計したものです。
・本特集における「過去最高」とは、比較可能な 1988 年以降の実績です。
・鹿児島県の実績は、鹿児島税関支署、鹿児島空港出張所、志布志出張所、川内出張所及び枕崎出張所が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
・2021 年までは確定値。2022 年は確々報値。

3.　長崎税関管内における相手国別輸入動向

長崎税関管内における「とうもろこし（飼料用）」について、過去１０年の輸入相手国別の推移を見ますと、年によりバラツキはあるものの、アメリカとブラジルの２カ国で概ね８割以上を占めており、相手国に偏りがあることが分かります。





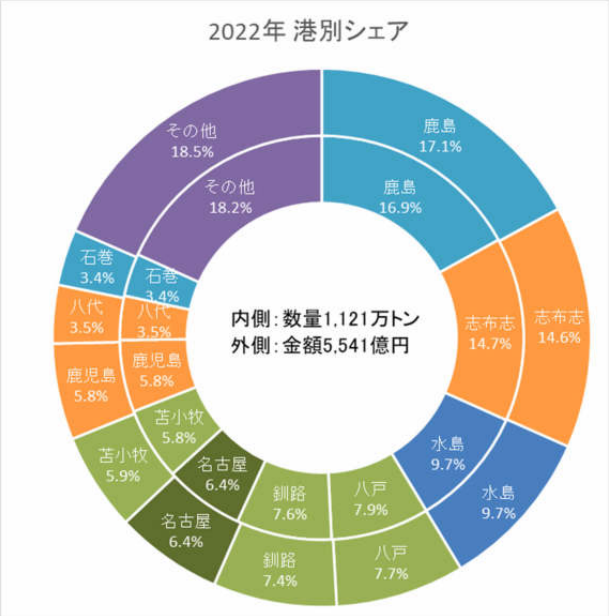
4.　港別輸入実績

志布志港の全国シェアは全国２位、輸入額は過去最高

2022 年における志布志港の全国シェアは、数量・金額とも第２位で、輸入額は過去最高でした。

志布志港は、南九州地域の国際物流拠点港として中核国際港湾に位置付けられますが、国際バルク戦略港湾[注１]にも選定されており、穀物の大型船輸送による効率的な輸入の実現が期待されます。

志布志港以外の順位は、数量・金額とも同じで、1 位 鹿島港、3 位 水島港となっており、管内では、8 位に鹿児島港、9 位に八代港が入っています。



注１ 国際バルク戦略港湾政策…拠点となる港湾を指定し、効率的な海上輸送ネットワークを構築することで、各港湾単独での中型船による海上輸送（非効率）から、企業間連携による大型船を活用した一括大量輸送（効率的）への転換を促進。

5.　県別輸入実績

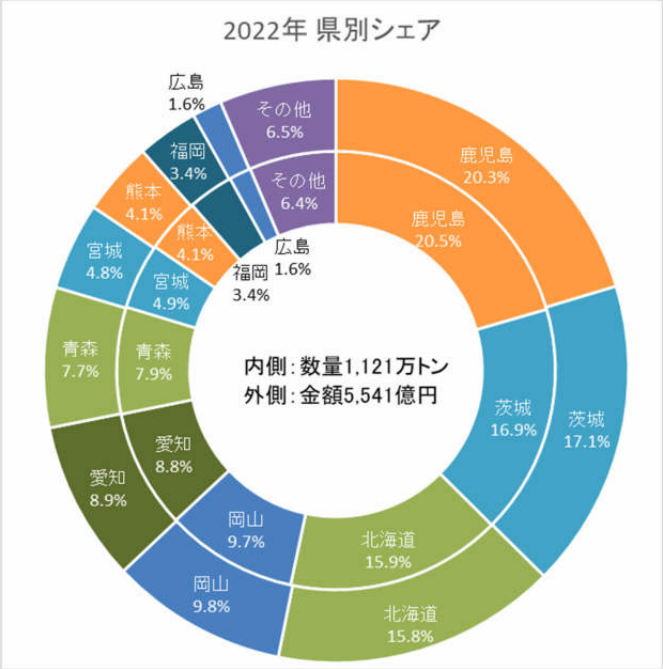
鹿児島県は 14 年連続
全国シェア第 1 位（数量・金額）！

2022 年における県別輸入実績は、数量・金額とも、鹿児島県が第 1 位で、輸入額は、過去最高でした。

以下、茨城県、北海道と続いています。

全国シェアの上位を見ると、畜産主産地から比較的近く、原料受入港が整備され、配合飼料工場が立地する県が多くを占めたものと思われます。

過去について調べると、鹿児島県は 2009 年以降、14 年連続で数量・金額とも全国シェア第 1 位でした。



過去 10 年の県別輸入順位（数量・金額とも同じ）

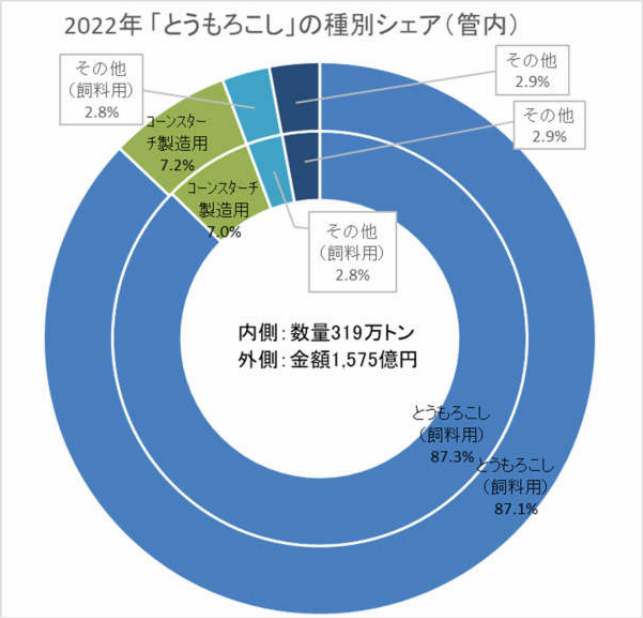
順位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島
2	茨城	茨城	茨城	北海道	北海道	茨城	茨城	茨城	茨城	茨城
3	北海道	北海道	北海道	茨城	茨城	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道
4	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山
5	青森	青森	青森	青森	青森	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知
6	岡山	岡山	岡山	岡山	岡山	青森	青森	青森	青森	青森
7	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城	宮城
8	福岡	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本
9	熊本	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡	福岡
10	兵庫	兵庫	広島	広島	広島	広島	広島	広島	広島	広島

6.　長崎税関管内における「とうもろこし」の種別シェア

2022 年の「とうもろこし」全体の輸入の内、「とうもろこし（飼料用）」が約 9 割を占めました。

続いて、「コーンスターチ製造用」、「その他（飼料用）」の順となっています。

「とうもろこし（飼料用）」は、関税定率法に基づく承認工場の下、一定の規格の配合飼料原料に使用されるもので、「その他（飼料用）」は、関税割当制度による自家製配合飼料用等であり、一定の関税割当数量内に限り無税が適用されるものです。



（参考）「とうもろこし（飼料用）」の輸入コストについて

とうもろこしの輸入価格は、簡単に示すと次の構成要素からなります。

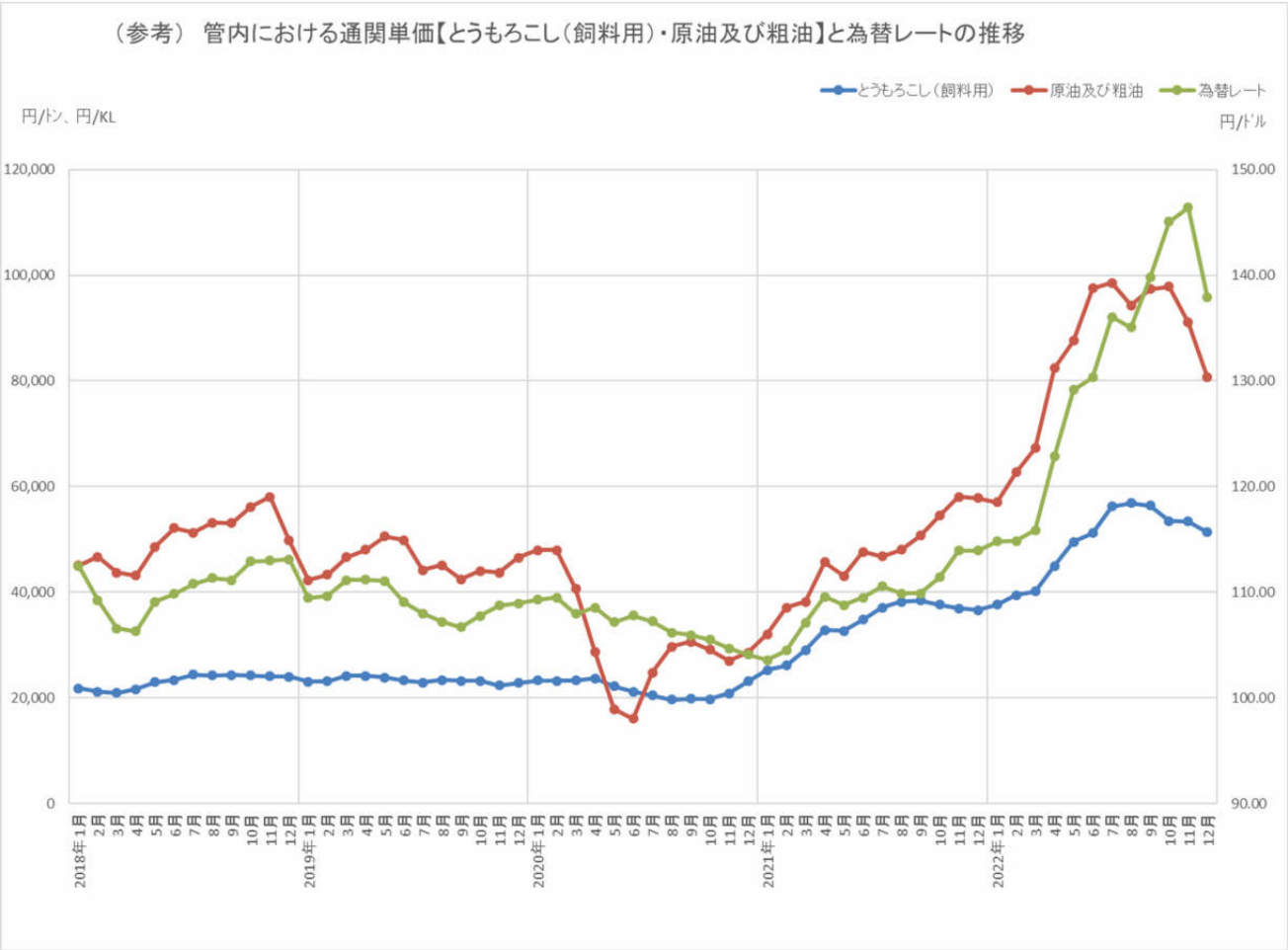
とうもろこしの輸入価格	＝	とうもろこしの価格	＋	運賃（輸出国内輸送費及び海上輸送費）	＋	保険料

とうもろこしの国際価格には、シカゴ穀物取引所での取引価格があり、生産地の天候の影響を受けるほか、各国の需給バランスや国際的な在庫状況、原油高騰によるバイオエタノール需要増、最近では肥料価格の高騰による生産作物の変更等様々な要因が価格に影響を与えることが考えられます。

海上運賃につきましては、国際的な船腹需要や原油の価格変動などが影響します。

また、日本における輸入価格は、ドル建て決済の場合、公示レートにより円換算されるため、為替レートも無視できません。

そこで、長崎税関管内における、過去 5 年間のとうもろこし（飼料用）の通関単価、原油価格の通関単価及び税関長公示レートの推移を示します。



◎「とうもろこし」と「スイートコーン」は別物！？

日本標準商品分類（平成２年６月改定版・総務省）によれば、「とうもろこし（未成熟を除く。）」は雑穀、いわゆる穀物に分類され、「スイートコーン」は、野菜の中の果菜類に分類されています。

また、輸入統計品目表におきましても、「とうもろこし」は穀物（10 類）、スイートコーンは野菜（7 類）に分かれて分類されています。

「とうもろこし」は、米、小麦と伴に世界３大穀物にも数えられており、世界で最も生産されている穀物になります。
穀物とは、子実を収穫するために栽培される一年生または二年生草本作物、およびその子実の総称とされ、澱粉質を主体とする種子を食用にするものとされています。
熟した「とうもろこし」の実を割ると、白い粉が出てきますが、これが澱粉になります。
デントコーンやフリントコーン、ポップコーンに使われる爆裂種等の品種は、穀物に分類されます。

一方、「スイートコーン」は、とうもろこし（未成熟）になりますが、とうもろこしの一種であることに変わりなく、甘味種全般を指した呼び名となっています。皮がやわらかく食べやすい特徴があり、糖質が澱粉にならずそのまま蓄積されるため甘みが強くなっています。

7．　おわりに

穀物価格の上昇等によって配合飼料価格が上昇しており、畜産経営を圧迫しているそうです。対策として配合飼料価格安定制度がありますが、補填が十分でないため配合飼料価格高騰緊急特別対策事業が実施されているとのこと。配合飼料価格安定制度は激変緩和措置であるため、価格が高止まりするとその効果は減少してしまうことから、畜産物への価格転嫁の重要性を訴える声が上がっているそうです。
食料安全保障への懸念が高まる中、飼料を含む穀物の安定供給は益々重要となっており、引続き輸入動向に注目していく必要があります。

（資料）：農林水産省資料、各種報道等による

～～～ 本資料についてのお問い合わせ ～～～

長崎税関 調査部 調査統計課　☎095-828-8659（直通）
〒850-0862　長崎市出島町 1 番 36 号
長崎税関ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.customs.go.jp/nagasaki/

※本資料を他に転載するときには、長崎税関の資料による旨を必ず注記して下さい。

表1　輸入の推移【全国・管内】

年	全国分				管内					
	数量（トン）	前年比	金額（千円）	前年比	数量（トン）	前年比	シェア（%）	金額（千円）	前年比	シェア（%）
2013	9,903,441	95.0%	307,492,863	109.8%	2,412,505	95.0%	24.4%	74,064,911	109.8%	24.1%
2014	10,227,716	103.3%	270,860,885	88.1%	2,556,759	106.0%	25.0%	66,433,541	89.7%	24.5%
2015	9,865,772	96.5%	256,505,302	94.7%	2,579,469	100.9%	26.1%	66,563,511	100.2%	26.0%
2016	10,330,917	104.7%	219,072,663	85.4%	2,677,287	103.8%	25.9%	56,480,702	84.9%	25.8%
2017	10,129,921	98.1%	225,050,538	102.7%	2,704,427	101.0%	26.7%	60,090,284	106.4%	26.7%
2018	11,010,875	108.7%	255,143,447	113.4%	2,764,403	102.2%	25.1%	63,910,967	106.4%	25.0%
2019	11,333,045	102.9%	267,179,478	104.7%	2,856,018	103.3%	25.2%	66,517,165	104.1%	24.9%
2020	11,394,922	100.5%	248,193,051	92.9%	2,890,738	101.2%	25.4%	63,036,832	94.8%	25.4%
2021	11,322,326	99.4%	382,828,154	154.2%	2,774,641	96.0%	24.5%	94,123,020	149.3%	24.6%
2022	11,205,482	99.0%	554,097,965	144.7%	2,789,360	100.5%	24.9%	137,136,478	145.7%	24.7%

表2　2022年 税関別輸入実績

税関	数量（トン）	構成比	金額（千円）	構成比
長崎	2,789,360	24.9%	137,136,478	24.7%
函館	2,776,868	24.8%	135,918,470	24.5%
横浜	2,593,471	23.1%	129,010,612	23.3%
神戸	1,460,503	13.0%	72,960,213	13.2%
名古屋	1,118,080	10.0%	55,856,496	10.1%
門司	419,622	3.7%	20,911,225	3.8%
その他	47,578	0.4%	2,304,471	0.4%
全国	11,205,482	100.0%	554,097,965	100.0%

表3　2022年 港別輸入実績

港	数量（トン）	構成比	金額（千円）	構成比
鹿島	1,899,110	16.9%	94,557,017	17.1%
志布志	1,650,956	14.7%	80,654,710	14.6%
水島	1,083,235	9.7%	53,996,989	9.7%
八戸	882,908	7.9%	42,940,735	7.7%
釧路	855,079	7.6%	41,166,436	7.4%
名古屋	714,662	6.4%	35,704,431	6.4%
苫小牧	652,334	5.8%	32,574,055	5.9%
鹿児島	646,134	5.8%	32,081,088	5.8%
八代	394,949	3.5%	19,401,984	3.5%
石巻	383,434	3.4%	18,702,703	3.4%
その他	2,042,681	18.2%	102,317,817	18.5%
全国	11,205,482	100.0%	554,097,965	100.0%

表4　2022年 県別輸入実績

県	数量（トン）	構成比	金額（千円）	構成比
鹿児島	2,297,090	20.5%	112,735,798	20.3%
茨城	1,899,110	16.9%	94,557,017	17.1%
北海道	1,779,101	15.9%	87,314,343	15.8%
岡山	1,088,911	9.7%	54,286,947	9.8%
愛知	982,198	8.8%	49,237,044	8.9%
青森	882,908	7.9%	42,940,735	7.7%
宮城	545,344	4.9%	26,805,046	4.8%
熊本	454,928	4.1%	22,519,798	4.1%
福岡	376,440	3.4%	18,791,142	3.4%
広島	182,158	1.6%	9,101,488	1.6%
その他	717,294	6.4%	35,808,607	6.5%
全国	11,205,482	100.0%	554,097,965	100.0%

表5-1　管内における国別推移（数量ベース）

単位：トン

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
アメリカ	761,188	1,844,308	1,724,016	1,763,810	1,810,700	2,475,692	1,527,517	1,657,180	1,648,201	1,480,019
ブラジル	766,663	351,509	655,216	862,615	595,234	264,548	1,233,897	1,233,558	593,355	871,352
アルゼンチン	509,089	9,935	37,056	3,459	13,331	24,163	94,604	－	494,194	369,477
ウクライナ	240,946	332,376	161,682	39,983	142,255	－	－	－	－	12,999
その他	134,619	18,631	1,499	7,420	142,907	－	－	－	38,891	55,513
南アフリカ	134,619	12,027	－	－	51,805	－	－	－	38,891	55,513
ロシア	－	－	－	7,420	73,167	－	－	－	－	－
中国	－	－	－	－	17,935	－	－	－	－	－
ルーマニア	－	6,604	1,499	－	－	－	－	－	－	－
世界	2,412,505	2,556,759	2,579,469	2,677,287	2,704,427	2,764,403	2,856,018	2,890,738	2,774,641	2,789,360

表5-2　管内における国別推移（金額ベース）

単位：千円

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
アメリカ	24,817,328	48,676,362	44,797,181	36,479,327	40,501,510	57,627,957	36,175,670	35,893,839	55,128,892	70,866,836
ブラジル	22,294,637	8,833,282	16,600,023	18,903,012	12,742,795	5,675,353	28,293,353	27,142,993	18,836,580	43,579,402
アルゼンチン	15,908,343	274,258	955,467	85,816	286,846	607,657	2,048,142	－	18,699,217	19,214,458
ウクライナ	6,631,727	8,196,944	4,172,007	855,133	3,209,486	－	－	－	－	481,931
その他	4,412,876	452,695	38,833	157,414	3,349,647	－	－	－	1,458,331	2,993,851
南アフリカ	4,412,876	286,895	－	－	1,109,686	－	－	－	1,458,331	2,993,851
ロシア	－	－	－	157,414	1,744,866	－	－	－	－	－
中国	－	－	－	－	495,095	－	－	－	－	－
ルーマニア	－	165,800	38,833	－	－	－	－	－	－	－
世界	74,064,911	66,433,541	66,563,511	56,480,702	60,090,284	63,910,967	66,517,165	63,036,832	94,123,020	137,136,478

表6　2022年 「とうもろこし」の種別実績（管内）

品名	HS	税率	数量（トン）	構成比	金額（千円）	構成比
とうもろこし（飼料用）	100590010	無税	2,789,360	87.3%	137,136,478	87.1%
ｺｰﾝｽﾀｰﾁ製造用	100590091	無税	222,161	7.0%	11,326,810	7.2%
その他（飼料用）	100590095	無税	89,387	2.8%	4,383,763	2.8%
その他[注2]	100590099	50%or12円/kgのいずれか高い方	93,115	2.9%	4,622,634	2.9%
合計			3,194,023	100.0%	157,469,685	100.0%

注2 2022年の実績は、1005.90-099のみであった。

表7　管内における通関単価【とうもろこし（飼料用）・原油及び粗油】と為替レートの推移　（付表）

年月	とうもろこし（飼料用）			原油及び粗油			為替レート
	数量（トン）	金額（千円）	単価円/トン	数量（KL）	金額（千円）	単価円/KL	円/ドル
2018年 1月	226,808	4,946,100	21,807	1,720,401	77,558,015	45,081	112.47
2月	204,145	4,328,713	21,204	1,737,935	81,183,193	46,712	109.26
3月	220,062	4,608,321	20,941	1,743,351	76,235,345	43,729	106.56
4月	258,153	5,588,992	21,650	1,543,202	66,625,010	43,173	106.31
5月	222,878	5,119,061	22,968	2,141,272	104,029,525	48,583	109.08
6月	228,282	5,334,621	23,369	1,223,414	63,832,375	52,176	109.86
7月	229,646	5,608,624	24,423	1,384,072	70,976,210	51,281	110.78
8月	212,147	5,134,906	24,204	1,905,408	101,303,756	53,166	111.33
9月	212,672	5,175,698	24,337	1,464,866	77,737,665	53,068	111.13
10月	269,131	6,520,461	24,228	2,103,920	118,086,496	56,127	112.90
11月	225,115	5,418,602	24,070	1,109,755	64,451,102	58,077	112.99
12月	255,364	6,126,868	23,993	2,369,221	117,982,783	49,798	113.12
2019年 1月	243,444	5,615,277	23,066	1,618,315	68,434,990	42,288	109.47
2月	212,047	4,899,231	23,104	929,370	40,245,431	43,304	109.66
3月	239,324	5,785,374	24,174	1,631,191	76,074,787	46,638	111.16
4月	239,060	5,781,562	24,185	1,803,274	86,627,558	48,039	111.18
5月	243,354	5,812,347	23,884	1,687,708	85,350,957	50,572	111.07
6月	201,094	4,681,863	23,282	1,274,166	63,482,212	49,823	109.05
7月	249,178	5,705,365	22,897	1,453,282	64,220,611	44,190	108.00
8月	249,304	5,827,298	23,374	1,686,079	76,024,896	45,090	107.21
9月	194,151	4,501,296	23,185	1,038,498	44,047,637	42,415	106.69
10月	268,444	6,240,897	23,248	1,553,861	68,460,929	44,059	107.77
11月	258,646	5,785,217	22,367	1,362,653	59,505,554	43,669	108.76
12月	257,972	5,881,438	22,799	1,737,159	80,904,757	46,573	108.95
2020年 1月	241,726	5,629,534	23,289	1,349,927	64,798,779	48,002	109.30
2月	218,963	5,081,906	23,209	1,599,280	76,702,678	47,961	109.50
3月	222,984	5,201,442	23,327	1,881,107	76,512,176	40,674	107.96
4月	318,643	7,549,037	23,691	2,654,667	76,382,497	28,773	108.56
5月	212,161	4,714,818	22,223	1,964,323	35,062,432	17,850	107.17
6月	203,969	4,325,908	21,209	1,657,062	26,564,945	16,031	107.78
7月	240,035	4,918,885	20,492	1,247,046	30,886,018	24,767	107.23
8月	240,878	4,743,692	19,693	1,886,659	55,963,290	29,663	106.19
9月	222,008	4,407,598	19,853	1,844,868	56,518,152	30,635	105.96
10月	244,701	4,828,873	19,734	1,548,094	45,113,470	29,141	105.51
11月	221,694	4,621,596	20,847	1,697,029	45,845,922	27,015	104.68
12月	302,976	7,013,543	23,149	1,729,716	49,370,845	28,543	104.11
2021年 1月	197,683	4,999,375	25,290	1,934,113	61,963,643	32,037	103.57
2月	219,648	5,741,926	26,141	1,131,028	41,990,738	37,126	104.50
3月	257,404	7,478,838	29,055	1,108,912	42,340,806	38,182	107.13
4月	271,325	8,898,756	32,797	1,587,214	72,526,685	45,694	109.56
5月	165,941	5,428,698	32,715	1,724,732	74,232,183	43,040	108.80
6月	262,699	9,147,606	34,822	1,546,590	73,677,294	47,639	109.50
7月	209,237	7,761,238	37,093	1,747,014	81,777,453	46,810	110.55
8月	223,353	8,534,663	38,212	2,138,827	102,814,347	48,070	109.89
9月	244,982	9,405,788	38,394	1,386,407	70,364,461	50,753	109.87
10月	204,912	7,706,366	37,608	1,413,876	77,099,776	54,531	111.42
11月	241,690	8,921,177	36,912	1,845,467	107,104,702	58,037	113.95
12月	275,767	10,098,589	36,620	1,748,047	101,076,748	57,823	113.95
2022年 1月	216,161	8,128,510	37,604	1,066,016	60,783,820	57,020	114.82
2月	231,356	9,122,535	39,431	1,523,421	95,522,762	62,703	114.84
3月	247,031	9,926,049	40,181	1,445,244	97,267,288	67,302	115.86
4月	239,347	10,762,616	44,967	2,025,672	166,853,111	82,369	122.84
5月	196,555	9,740,740	49,557	2,113,984	185,273,190	87,642	129.17
6月	249,642	12,781,523	51,199	2,207,769	215,307,423	97,523	130.35
7月	194,013	10,914,597	56,257	1,927,290	189,874,900	98,519	136.05
8月	236,609	13,452,626	56,856	1,394,322	131,517,305	94,323	135.08
9月	209,404	11,809,984	56,398	1,508,022	146,787,778	97,338	139.81
10月	276,113	14,761,933	53,463	1,903,408	186,213,217	97,831	145.09
11月	202,048	10,796,312	53,434	1,922,199	175,113,090	91,100	146.43
12月	291,081	14,939,053	51,323	1,745,290	140,816,381	80,684	137.90